

いしきの まき

No. 41 議会だより

平成26年11月12日発行

第3回定例会	2
各常任委員会審査報告	4
緊急質問	7
19人が一般質問で市政を問う	8
中央要望	17



条例や補正予算など55件を可決 平成25年度一般会計決算を認定

平成26年第3回定例会は、9月4日から25日までの22日間の日程で開催されました。今定例会では、平成25年度石巻市一般会計などの決算認定2件、条例や補正予算など市長提出議案53件、委員会提出議案1件、人事案件1件、計55件の議案が提出されました。審議の結果、決算は認定され、提出議案等はすべて原案のとおり可決されました。



第3回定例会に提出された議案と審議結果

決算 (認定)

- 平成25年度石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定
- 平成25年度石巻市病院事業会計決算認定

予算 (原案可決)

- 平成26年度石巻市一般会計補正予算(第7号) (第8号)
- 平成26年度石巻市土地取得特別会計補正予算(第1号) (第2号)
- 平成26年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号) (第2号)
- 平成26年度石巻市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成26年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成26年度石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成26年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第5号)
- 平成26年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成26年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 平成26年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

条例 (原案可決)

- 石巻市職員の配偶者同行休業に関する条例
- 石巻市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例
- 石巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- 石巻市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 石巻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 石巻市保育の必要性の認定に関する条例
- 石巻市立こども園条例
- 石巻市新型インフルエンザ等対策本部条例
- 次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

- 中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 石巻市立学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例
- 石巻市老人憩の家条例の一部を改正する条例
- 石巻市浄化槽事業条例の一部を改正する条例
- 石巻市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市営住宅条例の一部を改正する条例

その他 (原案可決)

- 工事委託に関する基本協定の締結について
- 工事委託に関する年度協定の締結について
- 業務委託に関する協定の締結について
- 業務委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について
- 財産の取得について

- (仮称) 石巻市宮不動町二丁目復興住宅
- (仮称) 石巻市宮三ツ股二丁目復興住宅
- (仮称) 石巻市宮祝田復興住宅
- (仮称) 石巻市宮前網浜2復興住宅
- (仮称) 石巻市宮前網浜2復興住宅
- 鰹鮪類ベルトコンベア等
- 桜坂高等学校備品
- 消防ポンプ自動車(石巻地区)
- 工事請負の契約締結について

- 魚町水産加工共同排水処理施設災害復旧その3電気設備工事
- (魚町水産加工共同排水処理施設災害復旧その3機械設備工事)
- 災害28-1号東5-8処理分区汚水管渠(1工区)災害復旧工事
- (新蛇田地区土地区画整理事業宅地造成(その3)工事)
- (新蛇田南地区汚水管渠築造工事)
- (石巻市屋内退避施設整備工事)
- (災害25-13号東2-3処理分区汚水管渠(3工区)災害復旧工事)
- (災害26-11号東3処理分区汚水管渠(1工区)災害復旧工事)
- 工事請負契約の一部を変更する契約の締結について
- (稲井支所災害復旧建設工事)
- 工事請負契約の一部変更について
- (湊こども園等複合施設建設工事)
- (特別支援教育共同実習所建設工事)
- (災害13-12号北7処理分区汚水管渠(2工区)災害復旧工事)
- (災害14号中里第一処理分区(その1)汚水管渠災害復旧工事)
- (農集(倉坪地区)集落排水施設災害復旧工事)
- (新渡波地区土地区画整理事業宅地造成(その2)工事)

人事

- 人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
- 北川禮子氏・岡田伸氏を選任することに異議がない

委員会 (原案可決)

- 「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書

第3回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例

○いじめ防止対策推進法が施行されたことにより、学校が直面しているいじめ問題に係る関係機関の連携強化、防止対策等の施策の調整、重大事案への対処等について、早急な体制づくりが求められていることから、新たな組織を設置し、いじめ防止等の対策を講じるため制定した。

◆石巻市立学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例

○今年度まで免除していた、東日本大震災により被災された方の石巻市立高等学校の入学者選抜手数料及び入学金について、県立学校と同様に来年度においても免除することから、条例の一部を改正した。

その他の議案から

◆財産の取得について

○本市が整備を行う復興公営住宅を、独立行政法人都市再生機構等から完成後に買取りすることについて、石巻市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

- ・(仮称)石巻市営不動町二丁目復興住宅(946,108,080円)
- ・(仮称)石巻市営三ツ股一丁目復興住宅(537,000,000円)
- ・(仮称)石巻市営祝田復興住宅(75,168,000円)
- ・(仮称)石巻市営前網浜2復興住宅(18,792,000円)



可決された補正予算のおもな中身は

今回の補正予算は、中央二丁目11番地区市街地再開発事業の実施に伴う観光交流施設、広場整備の調査設計等業務及び実施計画策定に要する経費をはじめ、雄勝地区保育所、雄勝診療所の建設に係る用地造成工事等に要する経費、新学校給食センターの建設に要する経費について、所要額を措置したもの。

また、社会保障・税番号制度導入に係るシステム整備等に要する経費のほか、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針である公共施設等総合管理計画の策定に要する経費、市営住宅及び復興公営住宅の管理業務の一部を民間に委託するための経費などについて、所要額を措置したもの。

◆総務費では

- ・住民情報システムの運用に向けた収納データの連携処理構築のためのシステム整備等に要する経費
- ・社会保障・税番号制度導入に係るシステム整備等に要する経費

◆民生費では

- ・老人憩の家を無償譲渡等するための修繕又は解体に要する経費
- ・雄勝地区保育所の再建に要する経費

◆衛生費では

- ・雄勝診療所の建設に要する経費
- ・住宅建築等に併い設置する合併処理浄化槽設置補助金の増額

◆農林水産業費では

- ・漁港施設用地の嵩上げ及び機能向上のための施設整備に要する経費

◆商工費では

- ・観光交流施設(生鮮マーケット)の実施計画策定に要する経費
- ・本市産業の活性化及び雇用の確保を目的とした創業者支援を行うための補助金

◆土木費では

- ・中塚橋の耐震補強工事に要する経費
- ・中央二丁目11番地区市街地再開発事業の実施に係る事業計画作成、現況調査、基本調査等に要する経費

◆消防費では

- ・FM中継局設置に係る鉄塔の補強に要する経費

◆教育費では

- ・新学校給食センターの建設に要する経費
- ・いじめ防止対策推進法に基づく調査委員会等の設置に要する経費

9月5日の本会議で、決算や条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。
各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

各常任委員会での条例・補正予算審査

総務企画委員会

石巻市職員の配偶者同行休業に関する条例について

Q 同行休業期間の給与等の支払について伺う。

A 基本給を含め一切の給与は支給されない。

Q 石巻市職員定数条例について伺う。

A 派遣職員及び任期付職員の採用時には、条例改正を行い定数の増加を図っている。また、当該休業制度が整備されることに伴い休業の取得者が見込まれる場合でも、定数への影響は小さいと考えられる。

環境教育委員会

雄勝地区小・中学校の移転新築事業について

Q 雄勝地区の小・中学校の併設場所が大浜地区に決定されるまでの経緯と小・中連携の取り組みについて伺う。

A 学校の建設場所については、平成24年2月に地域の父母教師会、地区会長会、まちづくり協議会の連名で、建設場所を大浜地区に、併せて小・中併設校にすることを要望を受け決定した。

小・中併設校となるため、教員が小・中双方で授業を行ったり、また、校舎の中には交流できる場所をつくる計画があるため、地域の方も巻き込んで様々な行事等に取り組んでいけるよう進めていきたい。

保健福祉委員会

石巻市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について

Q 新制度の保育料について伺う。

A 新制度の保育料は、国が定める基準を上限に、自治体が実情に応じて、公定価格に基づき保育料を設定する。新制度では、所得税による応能負担から市民税所得割による応能負担に変更となるが、保育料が極端に変わることはないように設定したい。

石巻市新型コロナウイルス等対策本部条例について

Q 新型コロナウイルス等の対象範囲及び緊急事態宣言が出された場合の外出制限について伺う。

A 新型コロナウイルス等とは、人から人へと飛沫感染するスペイン風邪、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザや新しい感染症など、重症化し大流行となるインフルエンザと症状が似ているものが対象で、デング熱など他の感染症は別の法律によって定められている。また、緊急事態宣言が出された場合の外出制限は、特措法の中で外出の自粛やイベントの中止などが定められており、国・県からの要請、指示により制限されることとなる。

産業建設委員会

石巻市営住宅条例の一部を改正する条例について

Q 市営住宅管理業務の外部委託による管理コストの縮減について伺う。

A 管理コストは6600万円ほど削減されるが、それでも管理代行料が約1億2000万円と高額であることから、最少の経費で最大の効果を発揮できるよう、今後、協定に向けた協議の中で、委託料を縮減できるように取り組んでいきたい。

Q 住宅供給公社及び民間業者の委託時間帯並びに民間業者の業務内容と公募の予定について伺う。

A 現在も24時間体制で夜間、休日を含めた対応をしていることから、現体制を引き続き維持し、入居者の不便にならない形にしていく。また、民間業者への委託については、施設の保守点検やメンテナンスなど、現場で対応する業務が主体となる。

なお、公募については、市内を4つに区分し、地元の事業者を活用した迅速かつ効率的な管理を考慮しており、本年12月までに業者を決定し、来年1月から施設管理を委託していきたい。

各常任委員会での決算審査

総務企画委員会

防災行政無線復旧デジタル化整備事業について

Q 今後の難聴対策について伺う。

A 防災行政無線屋外子局（こきよく）を放送伝達エリアに含まれない難聴区域や被災市街地復興土地区画整理事業地区に整備していく。

Q 石巻市津波避難ビル第3号、宮城エクスプレス株式会社周辺地域の避難想定について伺う。

A 津波避難の基本は、高台や浸水区域外に避難することで、津波避難ビルは、避難目標地点ではなく、あくまでも避難が間に合わなかった方々のための緊急避難場所であり、今後も沿岸部に、バランスよく指定したい。



▲避難ビルヘリポート視察

環境教育委員会

北鰐山墓地について

Q 北鰐山墓地無縁墳墓改装事業の現状と今後の跡地利用について伺う。

A 北鰐山墓地では、昨年度から有縁と思われる墓地の実数について再調査を実施した結果、約80基が残っていると確認された。今後は、新たな無縁墳墓の整理とあわせ、有縁墳墓について、使用者と相談しながら移転を働きかけていきたい。

また、震災後は土地のニーズ等が変化しているため、跡地利用については、今後、関係部局で検討する。

保健福祉委員会

保育所待機児童について

Q 震災後の住民移動に伴う保育所待機児童の状況について伺う。

A 現在、蛇田地区で待機児童が増えているが、今後、保育所を

門脇・大街道地区に整備する民間の動きもあり、来年4月から施行される、子ども・子育て支援新制度により、小規模保育事業等がはじまれば、待機児童が最も多い3歳未満児を受け入れる施設が整備され、待機児童の解消が期待される。

石巻市病院事業会計について

Q 累積欠損金の状況等について伺う。

A 現在、石巻市立病院は、本来の医業を行っておらず、開成仮診療所のための収益であるため、1億6千万円ほどの純損失となり、累積欠損金は、63億円ほどである。また、新市立病院の採算性については、建設にあたって極力、市からの持ち出しが少なくなるよう議会と共に要望活動を行っている。開院後の産婦人科、小児科、口腔外科等の不採算部門の診療科についても、石巻市立病院の復興基本計画

に将来的に検討する事が掲げられており、市民の健康を守り、市民が安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて努力して行きたい。



▲子どもセンター視察

産業建設委員会

重点分野雇用創出事業費について

Q この事業について、平成26年第1回定例会で附帯決議を行ったが、その後の対応について伺う。

A 透明性及び競争性を考慮し、一般競争入札を基準として入札を実施している。

ICT活用人材育成支援事業については、5月に提出された各種実績報告及び収支報告等を審査しており、他の事業についても、各課において審査をし、更に県でも審査したうえで、国に報告をしている。

急傾斜地崩壊対策事業について

Q 危険区域の指定基準について伺う。

A 急傾斜地の高さが5メートル以上で崩壊により危険が生じる恐れがある人家が5戸以上、または、5戸未満でも官公署や学校等に損害が生じる恐れがあるものを県が指定している。9月11日の豪雨で被害のあった羽黒町の3カ所は指定範囲外である。

今後は、県とも連携を図り、情報収集をしながら、対象となるエリアがあれば指定に向けて努力していきたい。

「手話言語法（仮称）」制定を 求める意見書 （委員会提出議案第7号）

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使う者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同時に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

平成18年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、平成23年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であると考えます。

よって本市議会は、政府と国会が下記事項を講ずるよう強く求めるものである。

記

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



▲第3回定例会 認定第2号の起立採決の様子

第3回定例会 起立採決のあった議案に対する 各議員の賛否

議席番号	氏名	平成25年度石巻市病院事業会計決算認定について(認定第2号議案)
1	黒須 光男	×
2	奥山 浩幸	○
3	阿部 利基	○
4	高橋 憲悦	○
5	楯石 光弘	○
6	安倍 太郎	—
7	阿部 正春	○
8	遠藤 宏昭	○
9	大森 秀一	○
10	木村 忠良	○
11	櫻田 誠子	○
12	渡辺 拓朗	○
13	首藤 博敏	○
14	山口 荘一郎	○
15	水澤 富士江	○
16	渡邊 昌明	○
17	阿部 正敏	○
18	近藤 孝	○
19	阿部 久一	○
20	丹野 清	○
21	森山 行輝	○
22	阿部 欽一郎	○
23	伊藤 啓二	○
24	千葉 眞良	○
25	高橋 栄一	○
26	青山 久栄	○
27	庄司 慈明	○
28	西條 正昭	○
29	後藤 兼位	○
30	千田 直人	○
賛 成		28
反 対		1
退 席		0
欠 席		0

※○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席
※安倍太郎議員は議長であるため採決には加わりません。

第3回定例会に 提出された請願

■「手話言語法（仮称）」制定を求める意見書」の提出を求める請願

（請願者） 宮城県聴覚障害者協会
会長 小泉 正壽

※この請願は保健福祉委員会及び本会議で審議、採択され、関係機関に意見書を提出することに決まりました。



第4回臨時会

緊急質問



黒須 光男 議員

・市立病院建設費の水増し疑念の中における入札のあり方について

問 市立病院の入札のあり方について、お伺いします。まず、水増しされた予算ですが近隣電波障害費として1億5千万円ほど計上いたしました。NHK及び電波障害を調査する日本DATAV技術協会の役員から聞きますと、「設計図面を見ればわかるし、当方では10万円位で積算できる。」とのこと。又、建設地付近の吉田のおばあさんから「黒須さん、既にアンテナは市役所の上立っており、地上デジタルの時代よ。」と笑われた。又、近くの14階のマンション付近も障害は一切なく最初から不必要な予算であります。

又、私の調査によると市が関わる全ての建設事業は、実施設計によって試算された額が予算化されておりますが、市立病院だけは実施設計が109億円であったのが、139億円に膨れ上がったのは疑問です。産業部長、復興事業部長及び福祉部長は、どのように思われますかお尋ねします。

答 電波障害があるかどうかは、建設後でないといけないと認識しており、必要でない時は、予算をカットすれば良い。復興事業部等においては、病院建設と違い実施設計によって予算措置がなされている。

実施設計とは、建設を実施可能にするための詳細な設計（広辞苑による）

第3回定例会に提出された陳情

議員全員へ参考回付しました

■公共建築物等への瓦御採用陳情

（提出者）
全日本瓦工事業連盟 理事長 山田 勝雄
宮城県瓦工事業組合 理事長 植木 憲郎

■文化財建造物等の修復に関する瓦工事には一般社団法人 全日本瓦工事業連盟加盟業者への発注の促進を求める陳情

（提出者）
宮城県瓦工事業組合 理事長 植木 憲郎

■議会活動におけるセクシャルハラスメント等への対策について

（提出者）
みやぎ女性議員のつどい 世話人 ひぐち のりこ
世話人 ゆき みゆき

第4回臨時会に提出された議案と審議結果

(平成26年8月20日開催)

予 算 (原案可決)

- ・平成26年度石巻市一般会計補正予算(第6号)
- ・平成26年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第4号)

そ の 他 (原案可決)

- ・工事請負の契約締結について
(釣石橋ほか2橋橋梁災害復旧(その1)工事)
(水産物地方卸売市場牡鹿売場・牡鹿製氷冷蔵庫建設工事)
(災害36-2号中央第3及び門脇処理分区污水管渠災害復旧工事)
(新蛇田南地区土地区画整理事業宅地造成(その3)工事)
(新蛇田地区污水管渠築造(その2)工事)

■軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情

（提出者）
軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子

■国道108号河南川尻線早期実現に関する陳情

（提出者）
石巻市蛇田地区 浜江場 行政委員 天野 嘉博
石巻市須江地区 山 裏 行政委員 小野寺貞吾
行政委員 千葉 正志
他4名

委員会送付(保健福祉委員会)

■ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

（提出者）
宮城県肝臓病交友会 代表 大江 正義
B型肝炎被害対策東北弁護団 団長 鹿又 喜治
薬害肝炎訴訟東北弁護団 団長 増田 祥

一般質問

議員19人が登壇 市政を問う!

第3回定例会の一般質問は、9月18日、19日、22日、24日の4日間行われました。今回は19人の議員が市政全般にわたり行政当局の見解をただしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員が自ら、行政当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

一般質問通告一覧 (※議員名の前に付いている番号は質問順序です)	
<p>①黒須 光男</p> <p>1 亀山市政の展望</p>	<p>⑪千葉 眞良</p> <p>1 9.11短時間豪雨について</p> <p>2 湊東地区区画整理事業について</p> <p>3 人事課題について</p>
<p>②千田 直人</p> <p>1 集中豪雨等災害対策について</p> <p>2 教育委員会制度改革について</p> <p>3 被災歌碑移築再興要望について</p> <p>4 捕獲鳥獣資源活用及び残さ処理について</p>	<p>⑫山口 荘一郎</p> <p>1 決算主義における予算編成について</p> <p>2 教訓を生かした防災訓練について</p>
<p>③奥山 浩幸</p> <p>1 石巻市立病院について</p> <p>2 中心市街地活性化基本計画について</p> <p>3 追波川河川運動公園陸上競技場について</p>	<p>⑬阿部 利基</p> <p>1 当市における官から民への進捗状況と実態について</p> <p>2 本市における包括的ケアのあり方と市立病院について</p> <p>3 立志式の意義と健全な教育について</p>
<p>④遠藤 宏昭</p> <p>1 不登校になってしまった児童生徒およびその保護者に対する教育委員会のこれまでの対応と今後の方針について</p> <p>2 市民の大きな不安となっている市立病院建設工事に伴う石巻駅前周辺道路の交通渋滞緩和策について</p>	<p>⑭櫻田 誠子</p> <p>1 防災について</p> <p>2 空き家対策について</p> <p>3 ヘルプカードについて</p> <p>4 介護について</p>
<p>⑤森山 行輝</p> <p>1 石巻市の雨水排水対策について</p> <p>2 門脇地区の振興について</p> <p>3 川開き祭りについて</p>	<p>⑮阿部 正敏</p> <p>1 起業家及び次世代後継者支援策について</p> <p>①起業家支援策について</p> <p>②次世代後継者支援策について</p> <p>③6次産業化策と起業家及び次世代後継者との連携について</p> <p>2 これからの観光政策について</p> <p>①石巻市の観光政策について</p> <p>②国、県の観光政策について</p> <p>③歴史的建造物の保存に向けた取り組みについて</p> <p>④自然環境をどう観光PRに生かすか</p> <p>3 防災対策について</p> <p>①「市民の生命財産を守る」心に響くメッセージの発信について</p> <p>②具体策の周知徹底と実現されるまでの結束の呼びかけについて</p> <p>③豪雨対策について</p>
<p>⑥首藤 博敏</p> <p>1 ふるさと納税について</p> <p>2 女性の地位向上について</p> <p>3 子どもの学力向上について</p> <p>～小中一貫教育への取り組みについて</p>	<p>⑯庄司 慈明</p> <p>1 宅地造成への十分な配慮を</p> <p>－先行例を教訓に－</p> <p>2 東部地区復興まちづくり事業のこれから</p> <p>－市民との協働のまちづくりの実践を－</p>
<p>⑦大森 秀一</p> <p>1 市立病院について</p> <p>2 農業の振興策について</p> <p>3 職員の人事について</p> <p>4 結婚の推進について</p>	<p>⑰西條 正昭</p> <p>1 人口減少と自治体消滅対策について</p> <p>2 JR仙石線全線開通と(仮称)新蛇田駅設置と稲井、渡波、女川までの乗り入れについて</p> <p>3 北上・雄勝地域の諸課題について</p>
<p>⑧後藤 兼位</p> <p>1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について</p> <p>(1) 新・石巻市行財政改革推進プランの策定について</p> <p>(2) 災害に強いまちづくりについて</p> <p>(3) 釜・大街道地域の震災からの復旧・復興の課題について</p>	<p>⑱楯石 光弘</p> <p>1 地域医療について</p> <p>2 地域防災について</p>
<p>⑨水澤富士江</p> <p>1 子育て支援について</p> <p>－「子育てするなら石巻」の実現へ－</p> <p>2 福島原発避難者自殺訴訟判決と市民の安全について</p> <p>3 蛇田中学校体育館の補修について</p>	<p>⑲高橋 憲悦</p> <p>1 石巻市の家計簿(財政状況)の現状と課題について</p> <p>2 亀山市政の行政課題に対する取り組みについて</p>
<p>⑩渡邊 昌明</p> <p>1 復興公営住宅について</p> <p>2 通学道路等の安全確保について</p>	



黒須 光男 議員

・亀山市政の展望

問 この9月3日の朝日新聞は、東日本大震災で出たがれき処理事業で宮城県石巻市の建設会社が架空経費を請求したとして県警が詐欺容疑でこの会社社長から任意で事情聴取していたことが3日、捜査関係者への取材で分かった。金額は3億1千万円を受け取ったとの記事でした。県警の捜査が進んでいることが伺えます。

既に市議会においては、百条委員会を設置して問題点を指摘して告訴していますが、いまだ市当局は告発する気配がありません。藤久建設への支払い業務は、他の業者と違って一日で会計課に回るなど特別扱いでした。関係する職員も取り調べを受けているとのこと、正直に話をされているのでしょうか。

又、市の人事では、教育委員及び行政経営戦略会議委員といった重要ポストには、詐欺容疑の社長との親密な方々があてられていることは、誤解を招く恐れがあり、市長自身にも不利になるのではないかと。

答 捜査が進んでおり、問題が明らかになった場合は、告発する。又、職員も捜査に協力し、取り調べに対しては正直に答えている。

なお、人事については、藤久建設社長との関係はないと思う。



千田 直人 議員

・集中豪雨等災害対策について

問 観測史上初の時間91mm、本市地域防災計画の見直しが必要と思う。お伺いする。

答 今年十二月の策定に向けて作業中である。

問 消防庁は消防団装備を消防隊員並みの新基準と発表だが対応は、桃生地区団操法全国大会出場応援体制は如何かお伺いする。

答 デジタル無線機は整備済みであるが、防火衣は整備中である。支援体制については応援のぼり旗を作成し、100名に及ぶ消防団員が一体になり万全の支援体制で臨む。

・教育委員会制度改革について

問 教育委員長と教育長を一本化新「教育長」を市長が任命・罷免、「総合教育会議」を設け市長と教委が協議し大綱を決定とのことだが現場はどう変わる。

答 責任体制の明確化及び危機管理体制の構築等抜本的な改革ではあるが、学校現場や児童保護者に特段変化は生じない。

・被災歌碑移築再興要望について

問 木俣修先生の歌碑が被災し湊二小に保管、歌碑再興要望が波瀾短歌会宮城支部から市長に再建要望書提出された対応は如何か伺う。

答 木俣修先生の歌碑「大漁の旗 あぐる船より呼ぶこゑに……」移築については、ご要望の通り、今年度中に日和山の川村孫兵衛翁碑の近辺を検討する。

・捕獲鳥獣資源活用及び残さ処理について

問 管理捕獲のシカを「食用」として活用する加工施設や残さ焼却施設を整備してはどうか。

答 シカ肉を地域資源として捉え、食肉としての有効利用について先進事例を調査、研究する。



奥山 浩幸 議員

・石巻市立病院について

問 市立病院の医療スタッフについて。

答 開院時は、医師や看護師、医療技術者など159名を見込んでいます。不足しているスタッフは、平成28年4月1日まで人員を確保する。

問 石巻地域医療教育サテライトセンター開設に関する機能や整備方針への影響について。

答 現時点では備品類の整備などを想定し、病院建設への影響はないと考えています。

・石巻観光交流施設整備について

問 観光ビジネスに精通した民間企業支援のプロジェクトチームを立ち上げてはどうか。

答 民間企業の支援活用は大変有効である。施設の整備・運営計画の段階から国の制度を活用した産業復興支援員を配置する。大手商社や流通業の経験がある方を全国的に探し、指導を得たいと考えている。

・追波川河川運動公園陸上競技場について

問 土の成分検査の結果と今後の対応について。

答 グランド用土としての基準値に達していない結果であり、全天候型に準ずるクレイ舗装材で検討し、改修について早急に実施できるよう努める。



遠藤 宏昭 議員

・市民の求めるまちづくりが、はたして出来ているか。

問 市立病院建設工事に伴う「駅前にぎわい交流広場」および「駅前平面駐車場」の閉鎖については、市民も事情を理解した上で我慢してくれるでしょう。しかしながら、これまで中心部ににぎわいを創出してきたさまざまなイベント開催は、当面、どこで行なわれるのか。代替場所の提示はできるのか。また、駅前周辺に来る市民の駐車スペースは確保できるのか。市役所立体駐車場には市民が利用できるスペースは何台分あるのか。多くの不安がよぎるのです。

答 関連して、これまで市職員が業務で使用する公用車が、立体駐車場に120台以上あったのですが、不足する駐車スペース確保のため、北鰐山へ移動するとの事。市職員の仕事の能率が下がるのではないかと。機動力が発揮できなくなるのではないかと。とても心配です。

答 そこで、市長をトップとする市役所が一体とならなければ、難題山積の復興事業がスムーズに進みません。今後の市政運営について、市長の見解を伺う。

答 議員からの指摘を真摯に受け止め、市民への情報提供を丁寧に行なう。また、市職員をねぎらい、議会とともに復興事業を推し進めたい。



▲駅前「にぎわい交流広場」の代替地となる駅前駐輪場



森山 行輝 議員

・石巻市の雨水対策について

問 9・11の大雨による浸水被害においても、大規模な地盤沈下に伴う浸水対策は当市にとって早急に改善すべきである。見解は。

答 石巻市の降雨対応の目標値は、45・6mm/hであり、現在の整備において排水能力は約半分、目標値達成は、5年計画で800億円を投じて整備予定分が完了する平成30年の見込みである。

・南浜地区の48haの活用について

問 南浜地区の現状と新門脇地区の区画整理事業内にある門脇小の遺構は、地区住民から取り壊せとの声がほとんどですが、考え方を伺う。

答 復興祈念公園整備は基本計画の策定に入る。主に追悼と鎮魂や教訓の伝承機能を担う。東側を県営公園、西側を市が整備する。

答 新門脇地区の区画整理事業は仮換地指定を行っている。門小の遺構については、震災伝承検討委員会にて検討中であるが、市民の意見も参考にしたい。

・石巻川開き祭りについて

問 今年の総括と日程については、8月の第1土、日とすべき。

答 震災前の状況に達してはいないが、新たな川開きの姿が創造されてきている。日程については、協議していきたい。



首藤 博敏 議員

・ふるさと納税について

問 ふるさと納税を今後どのように展開しようとしているのか。また、歳入確保とふるさと産品の消費拡大を図るため、石巻市民による石巻市へのふるさと納税をPRしてはどうか。

答 9月1日からふるさと納税のポータルサイト「ふるさとチョイス」を活用しながら、ふるさと産品の提供を再開している。今後、石巻の魅力発信できるように多くの産品を用意したい。また、市報等を利用して、石巻市民の石巻市へのふるさと納税を推進したい。

・女性の地位向上について

問 女性の活躍を一層推進し女性の地位向上を図るため、審議会・委員会等への女性委員の登用に関し、強制的に定数の一定枠を女性に割り当てるクオータ制を導入してはどうか。

答 各審議会等を所管する部署と協議しながらクオータ制の導入について検討したい。

・子どもの学力向上について

問 国は小中一貫教育の制度化を打ち出しているが、石巻市の今後の対応はいかがか。また、小中併設というやり方もあるがいかがか。

答 当面、小中連携推進事業の充実を図っていききたいが、小中併設については学区の再編成及び統廃合と併せ検討していきたい。



大森 秀一 議員

・市立病院について

交通渋滞への対応について

国道398号の蛇田方面に向う車線の変更と信号処理の変更で交通処理の円滑化を図る。

財源確保の見通しについて

最終的には財務省でいかに査定するかであるが、本市の状況を理解頂き、財源確保に努める。

・農業の振興策について

新規就農者の育成について

関係機関と連携を図りながら育成に努める。

認定農業者の育成について

認定に向けた経営分析等サポートを行い目標とする経営改善が図られるよう支援する。

・職員の人事について

適正な事務処理を行うためのチェック体制

職員の基礎的な能力向上にむけ、事務の基本である文書事務、財務事務の研修に努める。

・結婚の推進について

結婚の推進と取組について

本年市職員による「石巻市少子化対策プロジェクトチーム」を設置し、結婚、妊娠、出産、育児における課題解決に向け施策等を検討中。このまにに住み続けられるよう結婚対策について検討を重ねる。



後藤 兼位 議員

・災害に強いまちづくりについて

「避難タワーの早期建設を図れ」特に未整備の西部地域に建設すべきだ

西浜地区、門脇字明神、大街道南地区、湊西地区復興区画整理事業地内の4地区近辺への整備を推進する。

・釜・大街道地域の震災からの復旧・復興の課題について

仮称・新蛇田駅周辺整備について、市道・新立野元浦屋敷線の仙石線踏切拡幅整備（避難路の整備）を促進すべきだ

利用者の利便性の向上を図るため、今後も引き続き踏切の拡幅をJRへ要望する。

駐輪場・駐車場の確保について
新蛇田南土地地区画整理地内に新駅前広場と併せ駐輪場の整備を進める。

青葉東・西地区の排水施設の早期完成と中の掘整備を急ぐべきだ

着手している蛇田排水ポンプ場や計画中の（仮称）蛇田第二排水ポンプ場を早期に構築し浸水被害の防御に努める。

釜・大街道地区の排水対策の為に石巻港新ポンプ場の早期建設を推進すべきだ。

国道398号・大街道の道路渋滞緩和策を図れ

交差点の改良について県と協議、釜歩道橋付近の2つの交差点に右折レーンの設置を検討、また市として国道398号と国道45号との交差する市道中浦橋釜北橋線の車線を増やすための拡幅整備を計画、測量設計を今年度中に行う。

釜幹線水路整備の早期実現を（工業高校北から中浦橋に至る水路）

復興交付金事業を活用し、改修工事を実施する。工事の予定は、11月入札公告、来年1月から工事に着手しH27年度中の完成を目指す。
主張 地域要望を受け入れた事業推進を行うべきだ。



水澤富士江 議員

・子育て支援について

「子育てするなら石巻」の実現へ

来年4月から、子ども・子育て支援新制度が実施される。省令では、低年齢小規模保育園において、一部保育士の資格は必要としないとしている。保育の質、こどもの命を守るため、上乘せの運用を。

子育て支援ニーズ調査に基づき、子育て環境の充実を図っていく。

医療費無料化を通院の場合、小学6年から中学3年まで、女川町、東松島市並みに拡大すべき。

検討する。

福島原発避難者自死訴訟判決と市民の安全について

判決を受け市長の所感は。

原発事故の重大さを痛感。原発立地市長として、市民の安全と未来に責任を認識。

女川原発事故時、市民が被ばくしなしたため避難計画の策定を。

今年度末をめどに完成させる。

蛇田中学校校舎補修について

蛇田中学校校舎体育館屋根の補修、防球防砂ネットの設置を。

早急に検討する。



渡邊 昌明 議員

・復興公営住宅について

第2回事前登録の結果について

問 募集戸数936戸に対し、1800世帯の申し込みがあった。9月26日から11月下旬にかけて抽選を行う予定。

問 民間アパートを公営住宅に借上げするための基準は。

答 石巻市営住宅等整備要綱に基づいて、一定の耐震・防火性能など構造基準を満たすものが対象。維持管理経費を考慮し、まとまった地区・団地で確保するのが効率的と考える。

問 住宅不足分確保の状況と見通し、めどは。

答 今秋には方針を定め、年内中をめどに供給計画の見直しを行う。建設場所や整備手法は今年度中に決定したい。

問 仮設住宅の集約化についての考え方は。空き状況の推移を踏まえ、入居者の立場に立ち、不安を与えないよう慎重に検討する。

・通学路等の安全確保について

問 小・中学校通学路の危険個所の把握と対策

答 24年度に学校、警察、道路管理者と連携した「通学路における緊急合同点検」の結果、105か所を抽出。89か所が対策済。今年度中に、残り16か所中14か所の対策を完了する。

問 中里小北側市道石井閘門堤防線に信号機を石巻警察署に確認したところ、現時点では困難。市としては設置を要望していく。

問 河南東中、欠東側通学路に安全対策を

答 地元の要望により工事車両は時速30km以下で走行。歩道設置については、総合計画へ位置付けて検討する。



千葉 眞良 議員

・9・11短時間豪雨について

今後の課題と対応策について

問 震災により市内全域が地盤沈下しており、排水対策が課題となっているので、早急に整備を進めるとともに、予測困難な災害に対しては、気象情報を的確に捉え、早く住民に情報を伝え、万全を期す。

・湊東地区区画整理事業について

仮換地終了の目標について

問 第1回目の仮換地指定を8月11日に実施し、第2回目は9月末を予定している。残る地権者の方々には、引き続き仮換地の説明を行い、了解を得られた方々から。順次指定を行う予定としており、年内中の終了を目指している。

問 固定資産税について

答 当地区には、震災後、地方税法の特例に基づく「津波被災区域における課税免除措置」により課税免除を継続している。本区画整理事業に係る課税開始時期については、課税再開の目安であるインフラの復旧状況及び使用収益の開始状況を見ながら慎重に検討したいと考えている。

問 湊地区への診療所の設置について

答 湊地区を含む東部地区への民間病院及び民間診療所の誘致を促進し、地域医療を確保することを目的として、当該地区において病院、診療所を開設する医師又は法人に対して施設用地購入費の一部を補助する制度を本年4月に創設している。制度に関する問合せ等の機会を捉え、湊地区区画整理事業地内の土地利用との調整を図りながら誘致に努める。



山口 莊一郎 議員

・決算主義における予算編成について

決算書の事業成果評価が昨年の丸写しの事業が多い。

問 来年度は適切な成果コメントの作成に努める。

問 インセンティブ予算（効率化で支出削減した部署へ、削減額の一部を次年度に上乘せ）の導入検討を求める。

答 意識付けでは効果的だが、現実的には努力を図る物差しが難しい。目的別予算としても技術的課題がある。

・教訓を生かした防災訓練について

問 災害情報メールや災害情報ダイヤルの改善を求める。

答 J-ALERT（ジェイアラート）全国瞬時警報システムと連携した自動発信を検討する。

問 土砂災害への不安の声が大きい。市への相談にはどのように対応するか。

答 人の手が加えられている擁壁については所有者で対応していただくほかない。その他については県土木事務所対応となるが、市に相談が入った場合は「県に連絡してください」という対応ではなく、市から県へ取り次ぐなどの対応を行う。



阿部 利基 議員

・当市における官から民への進捗状況と実態について

問 震災復興関係で様々な事業が公共事業で行われているが、委託先の対応、あるいは成果、報告、連携がとれていない事業が見受けられる。十年続くであろう復興において、国との連携は必須であるし、疑義のないようしっかりと中間での精査や体制をつくる必要があるかと思うが。

答 今後、体制については検討していく。

・本市における包括的ケアのあり方と市立病院について

問 包括的ケアの認識が市民や議会と共有できておらず、社会システム全体の在り方について議論しなければ成功しない。そうした中で病院を強行するのであれば、ケアの中に産科、小児科など、不採算部門を積極採用するなど、包括的ケアの中で人口減対策を行ってはどうか。

答 提案のあった部分は病院の基本方針ではあるが、当面は努力目標になる。

・立志式の意義と健全な教育について

問 立志式を高く評価し、子供の健全な教育について、慰安婦問題を捏造した朝日新聞などは出前授業や受験に出るなどの売り込みがあるが、そういったことに加担しないよう要請する。

答 立志式について地域の特色もある。新聞については特定の主張に沿った取り上げ方はしていない。



櫻田 誠子 議員

・防災について

問 消防団員確保と地域防災力向上への取組、市民への災害情報提供について伺う。

答 団員確保のため企業への優遇策の実施等、更なる処遇改善を行う。防災無線の難聴地域もあり災害テレホンサービスの周知のほか、防災ラジオの導入も今年度中に実施し情報提供に努める。

問 浸水常習地域への早期対策。雨水タンクの普及促進、浸透ますの設置補助事業の実施、公共施設の雨水利用を図るべきではないか。

答 雨水排水計画と併せ事業化を検討する。

・あき家対策について

問 防犯や環境上、近隣から不安の声があるあき家に対し市としての取組を伺う。

答 全国的にあき家対策条例制定の自治体は多いが国の立法化の動きを見据え対応する。

・ヘルプカードについて

問 障がいのある方が手助けが欲しいときに提示するヘルプカードを導入すべきと思うが。

答 緊急時や日常的にも手助けが必要な時に役立つものと考え。石巻市障がい福祉推進委員会と協議をし作成を検討する。

・介護について

問 認知症早期発見と介護家族支援について

答 介護予防と認知症対策は重要である。介護ボラnteリアの実施、家族支援について検討する。



阿部 正敏 議員

・起業家及び次世代後継者支援策について

問 起業家支援策について

答 平成23年3月11日以降に創業した又は創業予定の個人、個人事業主などに上限200万円の補助金を設けるほか、金融機関と連携しセミナー開催などを実施して創業支援を促す。

問 次世代後継者支援策について

答 第2創業についても、創業支援策と同様の支援を実施し、次世代後継者育成を実施する。

・これからの観光政策について

問 歴史的建造物の保存に向けた取組について

答 旧石巻ハリストス正教会教会堂については、復元に向けた準備中、陶芸丸寿かんけい丸は、所有者から寄贈を受け保存活用に向け調査設計中、雄勝地区にある財天雄寺観音堂は、アメリカの財団等の補助金で再建する。

問 私的財産の保存に向けた取組について

答 広くその価値が認められている建物については、専門委員からアドバイスを頂き、市内の研究団体や有識者のご意見を頂くことも十分あり得る。

・防災対策について

問 9月11日に発生した豪雨災害の対応について各町内会、自主防災会の関係者から情報を聞くべきではないか。

答 関係者と被害状況について調査中であるが、今後は町内会、自主防災会との連携も重要である。

問 山下地域の国交省の排水ポンプ車の配置はいつしたのか。

答 12時40分頃の配置であった。今後は、冠水地区の状況を勘案し適切な配置を心掛ける。



庄司 慈明 議員

・宅地造成への十分な配慮を
― 市民へのていねいな説明を―

問 他市の事例だが、「防集事業により造成された団地で、宅地が被災者に引き渡された後、家屋を建設するためには、地盤改良が必要とされた」との報道があった。提案だが、①地盤強度試験をしつかり実施すること②提供する宅地は建築基準法上の課題はクリアしていて、いずれの基礎でも建築可能だが、より安全な高額となる基礎が求められる場合があると丁寧な説明を行うこと③「地盤改良をしないと建築業者が保険に入れない」との情報が入った場合は、石巻市はその事実確認をするべき、と考えるが見解を伺う。

答 わかりやすい、丁寧な説明を心掛ける。

・避難タワー等の空白地がある
― 松並町の不安にこたえて―

問 松並町は町内に避難タワー等の施設が無く、空白地となっている。その対応を伺う。

答 災害時、山へ避難できるように国道398号を安全に渡れる歩道橋等の具体的検討をする。

問 松原町・長浜町の地域では、甚大な被害を受けたにも拘らず行政の光が当たっておらず、草は伸び放題、建物の基礎は被災したままの状態が続いている。このままでは草に埋もれた地域になってしまう。対応策は

答 決して今の状態が続くようなことがあってはならない。国への要望も力を尽くす。



西條 正昭 議員

・人口減少と自治体消滅対策について

問 石巻市は日本創生会議・人口減少問題検討分科会が推計した消滅可能性896自治体に含まれており、対応策について伺う。

答 人口流出を抑え流入を増やすため、災害に備えた住環境整備、産業の早期復旧や新産業誘致、仙石線全線開通、三陸道4車線化、教育・福祉等の施策を展開し、全力で魅力ある石巻を創り上げていく。

・JR仙石線の(仮称)新蛇田駅設置と稲井、渡波、女川までの乗り入れ

問 (仮称)新蛇田駅の進捗状況及び女川までの乗り入れについて伺う。

答 (仮称)新蛇田駅は、JRの新駅設置の決定を待ち、基本協定締結に向けた協議を行う予定であり、平成27年度に駅舎等を整備し、平成28年3月末の開業を目指す。

女川までの乗り入れは、期成同盟会において要望しているが、JRから駅構内の改修工事、車両や運転士等の増員が必要との回答があり、今後も強く要望していく。

・北上・雄勝地域の諸課題

問 十三浜・雄勝地区における海産物の新商品開発・販路拡大・高度化による施設整備・石巻市の独自支援・風評被害対策について伺う。

答 十三浜のワカメやコンブ、雄勝地区のホタテなどの地域資源を活用し、新商品開発や販路拡大など農林漁業者の経営多角化を目的に設置した6次産業化・地産地消推進センターを通じ、積極的に地場産業の振興に取り組む。

石巻市水産物地方卸売市場の石巻売場、牡鹿売場及び雄勝・北上地区に簡易測定器を設置し、風評被害防止に努める。

土砂災害危険区域に指定されている北上町長尾地区・十三浜崎山・小滝地区の整備について伺う。

答 長尾地区は対策工事が行われる予定だったが、緊急に対応すべき事態が生じた他地区との調整等により工事が行われていない。

十三浜崎山・小滝地区は傾斜等の基礎調査を実施しているが、整備には県の急傾斜地崩壊危険区域の指定が必要であり、地域住民の意向を踏まえ県と整備を図っていく。



楯石 光弘 議員

本市は、これまでの20年とこれからの20年は全く違う。人口急減と高齢者1人を支える生産人口は3人から最悪1人となる全国的にも最速の超少子高齢時代を迎える。町づくりも人口や産業の減少を前提とした縮小型都市計画への転換、発想の転換を提案する。

・地域医療について

問 公立病院の役割、期待される機能は。

答 すべての市民がいつでも安心して医療を受けられ、地域住民の健康維持、増進を図り、地域の発展に貢献すること。機能は、早期に病床を回復させ、救急、終末期、在宅医療に係る環境の整備を図ることと認識している。

問 震災以前の市立病院では、活用されていない高額な機器や、公務員的非効率性も見られたと聞いているが、今後の方針は。

答 改善すべき点は改善し、より市民に愛され信頼され「市民に開かれた病院」をめざし、機能分化、連携で市民が満足する質の高い医療を提供し、安心して暮らせる地域の実現に努めたい。

・地域防災について

問 昼夜を問わず身を挺してあらゆる災害に立ち向かっている消防団員の、誤報時の出動手当は配慮すべきと考えるがいかがか。

答 消防団からの要望もあり支給を前提に検討する。

一般質問



高橋 憲悦 議員

・石巻市の家計簿(財政状況)と行政課題への取組について伺う

問 数年後63億4千万円の財源不足が見込まれる上、市債(市の借金)の総額は、7百12億円に及んでいる。このことは、市民一人あたり、約50万円を借金していることになり、その借金の総額は、通常時の一般会計の一年分以上にあたる。厳しい財政状況であることを認識し、「石巻市の身の丈に合った」行財政運営を行うべきであると思うがいかがか。

答 財政調整基金(市の貯金)の充当や行革の推進によってその縮減に努めたい。

問 行政課題の中でも、大川小学校問題は、全国、世界中に発信されて、石巻市がどのように解決するか注目されている。ご遺族に寄り添い、市の対応を含めて、原点から見つめ直してはどうか。この大川小学校問題の解決なくして、震災総括はないと思うが、その見解について伺う。

答 過去の経験したことのない大災害の中で事故であり、今後とも真摯に対応したい。

問 がれき処理不正請求について伺う。
答 新たな事実が明らかになった際には、内容を精査して対応したい。

石巻市議会豆知識

???



Q 議員の質問時間はどれくらい?

A 一般質問の質問時間は、市長や部長からの答弁を含めず一人30分以内です。

Q 質問通告って何?

A 質問する事項を、あらかじめ議長に告知知らせることで。

市議会ホームページ

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0100/index.html>
へアクセスしてください。

石巻市議会

検索

石巻市のホームページ内に開設しています。議会に関する様々な情報を掲載しています。

議会の日程や「いしのまき市議会だより」で取り上げた内容等についても詳しくご覧いただくことができます。

定例会や各委員会の会議録も検索できます。



ぜひ
ご覧ください!!

市政を知るために 議会を傍聴して みませんか?

本市議会の様子は、議会開会中、どなたでも傍聴することができます。ぜひ、お気軽にお越しください。

車いすや団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の開会時刻は、原則初日は午後1時、2日目以降は午前10時となっておりますが、議会運営上時刻が変更になることがございます。

ご不明な点等がございましたら、議会事務局へお問合せください。

石巻市立病院再建のための財政支援に関する 復興大臣等への緊急要望



▲財務副大臣へ要望内容の説明をする安倍議長（9月29日）

▼復興大臣へ要望書を手渡す安倍議長、亀山市長
（9月29日）



▲復興大臣政務官への要望
（8月21日）

平成26年8月21日と9月29日、石巻市立病院再建のための財政支援について、下記のとおり中央要望を行ってきました。

◆【要望先】

[8月21日]

厚生労働大臣、復興大臣、復興大臣政務官、自由民主党東日本大震災復興加速化本部長

[9月29日]

財務副大臣、財務省主計局次長、財務省主計局主計官、公明党幹事長、復興大臣、自由民主党幹事長、厚生労働大臣政務官

◆【出席者】

[8月21日、9月29日]

・[石巻市]

亀山 紘市長

・[石巻市議会]

安倍太郎議長、青山久栄副議長、丹野清議会運営委員長、千葉眞良同副委員長、大森秀一総務企画委員長、阿部正春同副委員長、阿部久一環境教育委員長、首藤博敏同副委員長、櫻田誠子保健福祉委員長、山口荘一郎同副委員長、高橋栄一産業建設委員長、木村忠良同副委員長

石巻市議会広報広聴委員会と 石巻を考える女性の会との

懇談会

平成26年8月28日、東日本大震災からの復興に向けた街づくりに関して、『石巻を考える女性の会』のみなさん（出席者：12名）と懇談会を開催いたしました。

女性の視点から、子育てなどに対する意見交換や福祉政策、医療の充実を求める提言が出されました。

◆『テーマ』

『石巻の街づくりについて』

- ・文化施設再建の考えについて
- ・中心市街地の復興について（旧石巻市）
- ・市立病院の建設について（建設費等）
- ・地域力アップのためのコミュニケーション作り（町内会コミュニティ等）
- ・女性の地位向上について（少子高齢化、収入格差等）

◆[石巻市議会出席者]

〈石巻市議会広報広聴委員〉

丹野 清 委員長

櫻田 誠子 委員、山口 荘一郎 委員、

水澤富士江 委員

〈石巻市議会議員〉

奥山 浩幸 議員、高橋 憲悦 議員、

楯石 光弘 議員、阿部 正春 議員、

首藤 博敏 議員、渡邊 昌明 議員、

近藤 孝 議員



▲『石巻を考える女性の会』のみなさん



『大漁おどり』に参加しました

8月1日の「石巻川開き祭り」の大漁おどりに、安倍太郎議長をはじめとする石巻市議会議員13名で参加し、途中雨に打たれながらも、老若男女の輪に加わり皆様とともに祭り気分を十分楽しみました。

◀大漁おどりに参加する議員13名

寄磯小学校の3・4年生が議場を見学し、議長にいろいろ質問しました

8月28日、石巻市立寄磯小学校の3・4年生4名が、社会科学習の時間で、議場を見学しました。

議場では、市議会に関する質問をし、その姿がモニタに映し出され、大変喜んでいました。

また、議長室では、いろいろなことが話題となりましたが、子どもたちは、議長の前で少し緊張している様子でした。

寄磯小学校議場見学
(議長室にて) ▶



広島市に見舞金を贈呈しました

8月20日未明に発生した豪雨災害により、甚大な被害となりました広島市に対し、市議会議員会から見舞金を贈呈しました。

東日本大震災以降、広島市からは本市への職員の派遣をはじめ様々な御支援をいただいているところであり、甚大な被害となった広島市の復旧支援として見舞金を贈呈したものです。

広島市からの派遣職員へ
見舞金贈呈 (議長室にて) ▶



石巻市議会「第16回議場コンサート」

市議会では、市民の皆様へ、議会活動への理解を深めていただくために、議場コンサートを開催いたします。

※当日は、午後1時から、第4回定例会本会議が行われる予定ですので、この機会に併せてぜひ傍聴してください。

問い合わせ先 議会事務局 (内線6917)

と き	12月4日(木) 第4回定例会初日 午後0時20分～午後0時40分
と ころ	石巻市議会議場 (市役所6階)
出演者	高橋 美幸 (シャンソン歌手) 伴奏：ブルーフェニックス
入場料	無料

議会の動き

8月

- 1日 石巻川開き祭り
- 6日 長野県岡谷市議会行政視察来石
- 8日 埼玉県川越市議会行政視察来石
- 18日 東京都練馬区議会行政視察来石
- 19日 鹿児島県垂水市議会行政視察来石
議会運営委員会
- 20日 第4回臨時会
- 21日 中央陳情(復興庁・厚生労働省・自民党本部等)
- 27日 宮城県市議会議長会事務局長会議
- 28日 石巻を考える女性の会との懇談会



- 24日 本会議(一般質問)、議会運営委員会
- 25日 本会議(委員長報告、追加議案審議、閉会)
- 29日・30日 中央陳情(財務省・復興庁・厚生労働省 他)

10月

9月

- 1日 議会運営委員会
- 4日 第3回定例会開会(～25日まで)
各常任委員会
- 5日 本会議(決算、条例案、予算案等審議)
各特別委員会
- 8日 総務企画委員会現地視察
- 9日 環境教育委員会現地視察
総務企画委員会書面審査
- 10日 保健福祉委員会現地視察
環境教育委員会書面審査
- 12日 産業建設委員会現地視察
保健福祉委員会書面審査
- 16日 産業建設委員会書面審査、議会運営委員会
- 18日 本会議(一般質問)、広報広聴委員会
- 19日 本会議(一般質問)、総合防災対策特別委員会
- 22日 本会議(一般質問)

- 1日 愛媛県新居浜市議会行政視察来石
- 7日 議会運営委員会行政視察(～10日まで)
- 8日 広島県熊野町議会行政視察来石
- 9日 愛媛県八幡浜市議会行政視察来石
東北市議会議長会事務局長会議(～10日)
- 16日 神奈川県川崎市議会行政視察来石
茨城県南市議会議長会行政視察来石(～17日)
- 17日 宮城県知事・宮城県議会議長要望
宮城県市議会議長会秋季定期総会
- 20日 愛媛県議会行政視察来石
- 21日 愛知県岩倉市議会行政視察来石
愛知県議会行政視察来石
総務企画委員会行政視察(～23日まで)
環境教育委員会行政視察(～23日まで)
保健福祉委員会行政視察(～24日まで)
産業建設委員会行政視察(～23日まで)
- 22日 熊本県荒尾市議会行政視察来石
- 23日 東京都八王子市議会行政視察来石
- 28日 総務企画委員会
- 29日 愛知県大府市議会行政視察来石
- 30日 埼玉県鴻巣市議会行政視察来石
東日本大震災復興再生特別委員会現地調査
議会運営委員会
- 31日 愛知県安城市議会議長来石

編集後記

秋の深まりが感じられる風景となり、気温もだいぶ下がってまいりました。この議会だよりが皆様に届く11月中旬には、間もなく冬になろうとする時だと思えます。

今議会では、「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書について、全会一致で意見書の決議がなされました。話すことの不自由な方々の更なる活動の一助になればと考えます。国も早期にこの意見書の具体化に向けて欲しいものです。

復興は再生期に入り、ますます、事業の推進が求められ、具体的な課題が山積ですが、前に進めるためにひとつひとつ考えながら、議論を進めております。

寒さも厳しくなって来ます。皆さまくれぐれも健康には気を付けてお過ごしください。

広報広聴委員会副委員長 千葉 眞良

表紙から

大街道小学校の3年生が 議場を見学しました



9月8日、石巻市立大街道小学校の3年生41名が、総合的な学習の時間で「石巻の未来を考えよう」をテーマとし、市役所を訪れました。

その中で6階にある議場を見学し、議員席に座り質問するなど、本会議の雰囲気を感じてもらいました。

議会報告会を開催します

石巻市議会では、より市民に身近な議会にしていくため、平成26年度第1回議会報告会を以下の日程で開催します。

この議会報告会は、議員が4班に分かれて地域に出向いて行うもので、市民の皆様の日頃の議会活動を知っていただくとともに、市政や議会活動に対するご意見やご提言を伺い、議員と市民がお互い自由な形で情報や意見を交換し、理解を深め合う場です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

どうぞ、お気軽にお越しください。

- 内 容**
- 議会活動報告（平成26年9月定例会の審議結果など）
 - 議員との意見交換

日 時	会 場	出 席 予 定 議 員
11月27日(木) 午後6時30分 ～午後8時	河北総合センター (ビッグバン) 集いの部屋	大森 秀一 阿部 久一 千田 直人 青山 久栄 高橋 栄一 伊藤 啓二 黒須 光男
	遊 楽 館 会議室1・2	阿部欽一郎 阿部 正春 西條 正昭 山口荘一郎 渡辺 拓朗 渡邊 昌明 楯石 光弘
	稲井公民館 2階 会議室	奥山 浩幸 森山 行輝 木村 忠良 後藤 兼位 阿部 正敏 千葉 眞良 庄司 慈明 高橋 憲悦
	石巻市役所 6階 議会委員会室	阿部 利基 遠藤 宏昭 丹野 清 近藤 孝 首藤 博敏 櫻田 誠子 水澤富士江

常任委員会行政視察報告会を開催します

総務企画委員会

- 福岡県久留米市
・防災情報ネットワークについて
長崎県長崎市
・マイナンバー制度について

環境教育委員会

- 熊本県熊本市
・小中一貫教育について
大分県日田市
・バイオマス利活用事業について



保健福祉委員会

- 岐阜県岐阜市
・岐阜市民病院の健全経営について
滋賀県東近江市
・地域包括ケアシステムの取り組みについて
大阪府寝屋川市
・生活保護制度の適正化運用について

産業建設委員会

- 熊本県玉名市
・6次産業推進の取組みについて
佐賀県唐津市
・唐津水産業活性化支援事業について

多くの皆様の傍聴をお待ちしております。詳細日時については、議会事務局へお問い合わせください。
※詳細が決定次第、議会ホームページにも掲載いたします。